



国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

2020年の国際観光客数は60-80%減少する可能性あり

-UNWTO 報告

2020年5月7日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

- 国際観光は第1四半期に22%減となり、通年で60~80%減となる可能性
がある。
- 3月までに6,700万人の国際観光客数が減少し、このことは輸出額が800億米
ドル減になることを意味している。
- 国連世界観光機関(UNWTO)は、危機がどのように展開するかに応じて、考えられ
る今後の3つのシナリオの概要を示した。

国連世界観光機関(UNWTO)の最新データによると、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミック(世界的大流行)により、2020年第1四半期の国際観光客到着数は22%減となった。UNWTOによれば、この危機により、2019年の数値との比較で年間60%~80%の間で減少する可能性がある。このことにより、何百万もの生計が危険にさらされることになり、持続可能な開発目標(SDGs)の進展を後退させる脅威となっている。

国連世界観光機関(UNWTO)ズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「世界は前例のない健康と経済の危機に直面しています。観光は深刻な打撃を受けており、経済の最

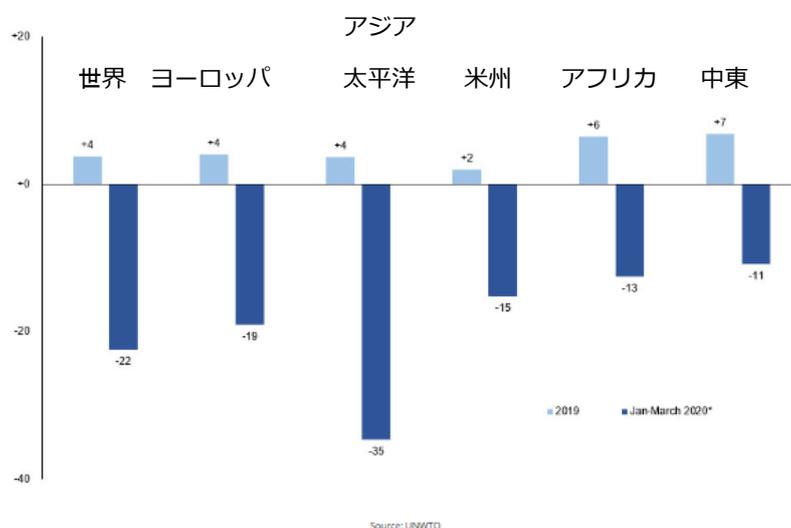
国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

も労働集約的な部門の一つにおいて**何百万人も**の雇用が危険にさらされている。」と述べた。

最新の国連世界観光機関(UNWTO)世界観光指標によると、**各国が報告した入手可能なデータは、によると、2020年の最初の3ヶ月間で到着数が22%減少したことを示している。**3月の到着数は、多くの国でロックダウンが始まったことや、広く導入された旅行規制、空港や国境の閉鎖を受け、57%まで激減した。このことは、6,700万人の国際観光客到着数、約800億米ドルの国際観光収入(観光からの輸出)の損失を意味する。

アジア・太平洋地域は、相対的および絶対的に最も高い影響(-3,300万人の到着数)を示しているが、ヨーロッパ地域の影響は、割合は低いものの、数量ではかなり大きい(-2,200万人の到着数)。

2019年対2020年第1四半期の国際観光客到着数(%伸び率)





国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

国際観光 2020 年のシナリオ

この 1 年間の見通しは、コロナウイルス感染症の発生以降数回下方修正され、不確実性に支配されている状況が続いている。現在のシナリオでは、年間の国際観光客到着数が 58%から 78%まで低下する可能性があるとは指摘されている。これらは、封じ込めの速度と、旅行制限や国境の閉鎖が続く期間によって左右される。以下の 2020 年のシナリオは、国境を段階的に開放する 3 つの候補時期に基づいている。

●シナリオ 1(-58%) 7 月初旬に段階的な国境開放と旅行規制の緩和が行われるという前提

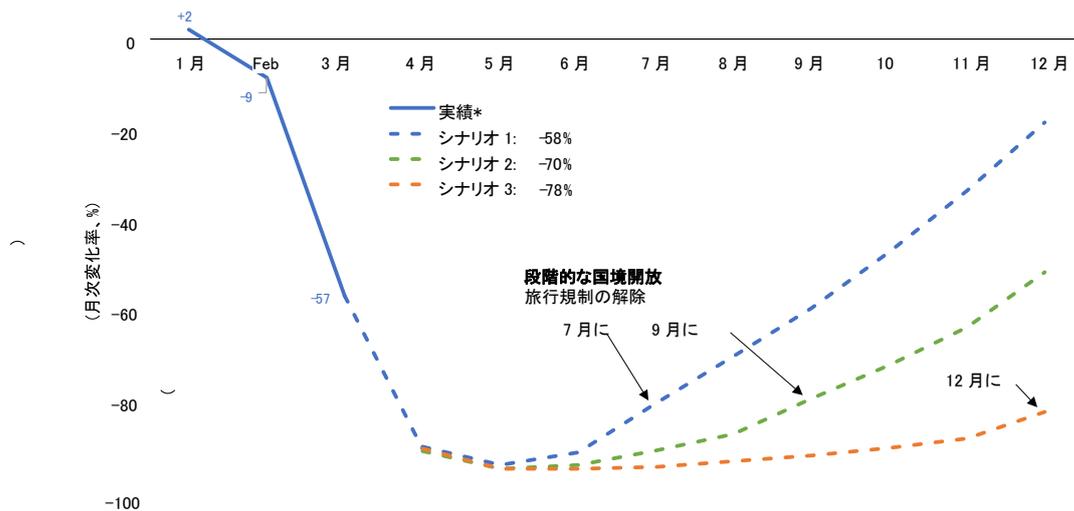
●シナリオ 2(-70%) 9 月初旬に段階的な国境開放と旅行規制の緩和が行われるという前提

●シナリオ 3(-78%) 12 月初旬にはじめて段階的な国境開放と旅行規制の緩和が行われるという前提

(次ページに続きます)

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

2020年の国際観光客到着数:3つのシナリオ(前年同月比、%)



* 3月までの実績には、まだ報告されていない国の推定値が含まれています。

出典:国連世界観光機関(UNWTO)

(注)本グラフに示されているシナリオは予測ではありません。これらは、国境が徐々に開放され、期限の異なる旅行制限が解除されることに基づく代替的な月間到着量の変化を表しており、依然として不確実性は大きい。

これらのシナリオのもとでは、国際観光における需要損失の影響は、以下のように転じる可能性がある:

- **国際観光客到着数の減少は 8 億 5000 万~11 億人**
- **観光からの輸出収入 9,100 億米ドルから 1.2 兆米ドルの損失**
- **観光の直接的雇用 1 億人~1 億 2000 万人の雇用が危険にさらされている**

専門家は 2021 年の回復を予測する

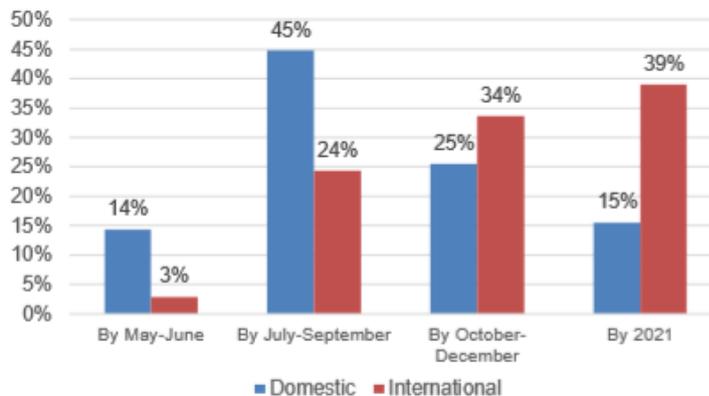
国連世界観光機関(UNWTO)専門家委員会の調査によると、**国内需要は国際需要を上回る速さで回復すると予測されている。その大多数は、2020年の最終四半期までに回復の兆しが見えることを期待しているものの、観光需要の大部分が回復し始めるのは 2021年になると予測し**

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

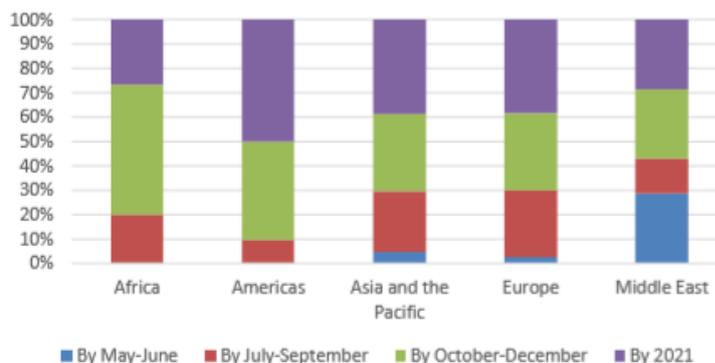
ている。過去の危機を踏まえると、ビジネス旅行よりも、特に、友人や親族への訪問といった休暇目的の旅行が、より早く回復すると予測している。

アフリカ及び中東地域では、国際旅行の回復に対してより肯定的な見方が多く、ほとんどの専門家が2020年の回復を予測している。**米州地域**の専門家は**最も楽観的ではなく**、2020年の回復を信じている可能性が最も低い。その一方で**ヨーロッパとアジア地域**では見通しはまちまちであり、半数の専門家が今年内の回復を予測している。

自国内の観光需要が回復し始めるのがいつになると予測しているか



自国に対する世界的な需要が回復し始めるのはいつと予測しているか





国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

関連リンク

[UNWTO 世界観光指標 \(World Tourism Barometer\)](#)

[UNWTO 国際観光に関するダッシュボード:観光とコロナウイルス感染症](#)

[全世界で新型コロナウイルス感染症による旅行制限を実施](#)

[UNWTO 観光とコロナウイルス感染症専用ページ](#)

[コロナウイルス感染症と脆弱なグループ](#)

[UNWTO 復興に向けた 23 の実行可能な推奨事項](#)